2016年3月23日

即日リリース

シンポジウム開催予定

6月13～17日、ヒルトン・ハワイアン・ビレッジ（ハワイ・ホノルル）

**2016年VLSI技術・回路シンポジウムのテーマは**

**「スマート社会への変革の兆し」**

ハワイ・ホノルル（2016年3月23日）　半導体の微細化（スケーリング）が続くなか、マイクロエレクトロニクス業界は新たな変曲点を迎えようとしています。最先端技術と円熟した技術の集積を積み重ね、産業界を様変わりさせる「スマート」なシステムレベル・アプリケーションを次々と生み出していきます。年1回開催の「VLSI技術・回路シンポジウム」は、マイクロエレクトロニクスの進歩・進化を担う半導体技術に関する重要な国際カンファレンスとして、エレクトロニクス業界の中心となるトピックをつねにリードしてきました。2016年のテーマは「**スマート社会への変革の兆し**」。マイクロエレクトロニクス業界に見られる多様な力強いイノベーションをふまえ、このテーマに関する基調講演、パネルディスカッション、フォーカスセッション、ショートコースなどをお届けします。

VLSI技術シンポジウムの実行委員長、ラージ・ジャミー（Raj Jammy）は次のように述べます。「モノのインターネット（IoT）、ビッグデータ、スマートカーは、高周波（RF）、ミックスドシグナル、デジタルおよびパッケージング技術をはじめとする各種技術の統合に重きを置いています。デバイスサイズのスケーリングが限界に近づいているため、3次元IC、組み込みメモリ、システム・イン・パッケージ（SiP）を通じて、機能のスケーリングという軸を技術イノベーションに加味していかなければなりません」

VLSI回路シンポジウムの実行委員長、ジェフリー・ギーロウ（Jeffrey Gealow）は次のように説明します。「スマート社会へ向けたシステムレベルのイノベーションの方向性を探るため、カンファレンスでは、IoTによる産業エレクトロニクスの変化、ビッグデータマネジメント、バイオメディカル応用、ロボッティクス、スマートカーに焦点を当てます。VLSI技術・回路シンポジウムは、この変革を実現していくたの、回路・システムデザインとデバイス・プロセステクノロジーの協調を引き続き重視していきます」

技術シンポジウム、回路シンポジウムいずれの全体セッションも「変革の兆し」というテーマに沿ったものとなります。VLSI技術シンポジウムの幕開けは、インベンセンスのエンジニアリング・新製品開発担当VP、スティーブン・ロイド（Stephen Lloyd）氏による「**MEMSセンサーが可能にする次なる新製品の波**」。次いで日産自動車専務執行役員、浅見孝雄氏が「**VLSIを通じて実現するインテリジェント・モビリティ**」について語ります。VLSI回路シンポジウムは「モアザンムーア（More than Moore）」を推進する要因技術に焦点を当て、ソニーのモジュール事業部長、野本哲夫氏が「**イメージングの進化によるセンサー分野のさらなる発展**」と題して講演します。

本シンポジウムならではのプログラムとして、技術・回路のジョイントフォーカスセッションも予定しています。そのひとつが、業界の置かれた現状を強調する「**モアムーア、モアザンムーア、それともモア（ムーア）・スローリー（More Moore, More than Moore or Mo(o)re Slowly）**」と題するジョイントパネルディスカッションです。また、業界各社の幹部によるパネルディスカッション「**微細化の先にある半導体ビジネス**」では、従来のスケーリングの先にある変革が、マイクロエレクトロニクス事業や今後の業界にどう影響するかを論じます。

2016年のVLSI技術・回路シンポジウムは、ハワイ州ホノルルのヒルトン・ハワイアン・ビレッジで、技術シンポジウムは6月13～16日、回路シンポジウムは6月14～17日に開かれます。2つのカンファレンスは1987年から共同開催されており、世界トップクラスのデバイス技術者や回路・システム設計者がマイクロエレクトロニクス技術に関する最先端の研究について情報交換する場となっています。毎年、ハワイと日本交互の開催です。

**スポンサー組織**

VLSI技術シンポジウムは、米国電気電子学会（IEEE）電子デバイスソサエティ(EDS)と日本応用物理学会(JSAP)が後援、IEEE固体素子回路ソサエティ(SSCS)が協賛しています。

VLSI回路シンポジウムは、米国電気電子学会（IEEE）固体素子回路ソサエティ(SSCS)と日本応用物理学会(JSAP)が後援、電子情報通信学会(IEICE)が協賛しています。

**詳しい情報、登録、論文の請求**

[http://www.vlsisymposium.org](http://www.vlsisymposium.org/)

をご覧ください。

**問い合わせ窓口**

BtB Marketing Communications

クリス・バーク（Chris Burke）

[chris.burke@btbmarketing.com](mailto:chris.burke@btbmarketing.com)

+1-919-872-8172